

競技会実施について主催者の対応

<第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会大阪府予選会>

① 入場について

- ・ 外からのウィルス持ち込み予防のため施設入口での手指の消毒の設置
噴霧アルコール 設置
- ・ 入場時刻は事前に公式ホームページに記載。
- ・ 予め待機場所を指定し、間隔を開けて順次会場に入場。
観覧席の左側・右側それぞれの受付とする。
- ・ 待機場所は事前に公式ホームページに掲載。

※入館時に各日とも「健康チェック表」**団体票**（チームで1枚）

個人票（1人1枚）を確認し受理する。

入館時に再度検温

② 待機場所について

- ・ 更衣室での休息はせず更衣のみの使用とする。
- ・ 観覧席の後ろ通路は避難通路をあけて使用を可能とする。
- ・ 電光掲示板下南階段からプール、プールからダイビングプール側階段から観覧席へ一方通行とする。

③ ウォーミングアップについて

- ・ プールに入水・退水は奇数レーンはターン側、偶数レーンはスタート側からとする。
- ・ 通常通りに行うが、プール内の壁側（スタート位置、ターン位置）で立ち止まらないように役員が誘導する。
- ・ スタート練習は、アップの人数で調整し、並ぶ人数を制限し、少なくとも1m以上の間隔を保ち、会話しないように指示をする。開けて並ばせる。（ソーシャルディスタンス）
- ・ タオル類は共有しない。

<メインプール>50m

- ・ 競技前のウォーミングアップも許可する。
- ・ アッププールとして利用する。
- ・ 9、10レーンは終日飛込専用レーンとする。

④ 招集について

***10歳以下の招集についてはコーチの誘導のみを許可する。**

- ・ 片面プールサイドをフルに利用して行う。
- ・ 出場種目ごと放送により、案内する。

招集所では必ずマスクを着用すること。

レーンにつく時に外しますのでマスクケースを用意すること。

- ⑤ 選手は競技出場後、速やかに退館。
- ⑥ トイレの使用について
- ・トイレ使用は、密集を避けるためにも通路で間隔を取って待つようにしていただく。
 - ・使用後は、石鹼での消毒をお願いする。
- ⑦ 施設の管理
- ・定期的に換気
 - ・ドアは極力開けておく、消毒を定期的に行う。
 - ・更衣室の巡回、換気と消毒。
- ⑧ 体調不良者が出た発生した場合
- ・第一発見者が本部に連絡し、傷病者を医務室に速やかに誘導
 - ・対応役員は極力少人数で行う。
(医療用个人防护具：フェイスシールド・手袋等に対応する)
 - ・発熱者が出た場合は隔離できる場所を確保する。
- ※熱中症にも注意をはらう。
- ⑨ 飲食について
- ・選手および役員が食事を摂取する際には個別に摂取する。
 - ・ドリンクの回し飲みはしないこと。

飛沫感染防止対策として食事時のソーシャルディスタンスを保ち、アルコール消毒の徹底、館内での食事は新型コロナウイルス感染症防止を徹底する。

- ⑩ 競技役員
- ・入館の際には検温、手指の消毒、体調の確認をする。
 - ・入館時に各日とも「健康チェック表」個人票を各自提出
 - ・控室も密にならないようにする。審判中は必ずマスクを着用する。
 - ・競技役員の交代時に、トランシーバ・ストップウォッチ・マイクなどの消毒を行う。